結の神

十返舎一九作

香蝶楼國貞画

013
2378
172

遠3
2378
172

十返舍一九作

全部六冊
合本三局

結神末松山 上巻

香蝶樓國貞画

江戸馬喰町二丁目
山口屋藤兵衛版

結神末松山序

釋然名ハ曰剣ハ撿る。非常と防撿る。人愚純のるハ入りくるる木刀ハ
その人の德ハ属して光を放せども。小人愚
ひとしく益なきのこゝハあゝ火禍を生ずる基と為べし。男
子平生ハこれを帶ハ悪を制し。善を行ふことを志しめんが為
なり。爰ハ近江の國横谷ハ一人の奇士あり。ひと振の宝剣を佩てより。
おのゝ〻才能ハ慢し。藝道ハ誇り。邪路ハ落て。遂ハ非命の死ハ
つきしハ身の分際を弁ぜしく。過當の利欲ハ迷ふゆゑ故人その善悪
の禍福をあげて。感本となし。且武州松山稲荷の霊験を附
きく。かくハ表題をまもるべし。

天保八丁酉年正月吉日　十返舍一九遺稿

唐崎連三郎晴景
櫻谷藩中真野兵太郎

時連
関戸屋義女志佳

婚婦
小伊佐

黄金亭一宝
東寧舎一河

丹

つぎ
たびあきるひせがつとえーの
まうけもあれうんとよくまん
あとりありてむかいさあうあてこの
あてそれくのみのうだんえん
ようらーやぞこなをあつこ
上あうのくさとありむかるる
○こふちぶのこひがぶと
いふとこうのそのところ糸
ゆそえんせうのまつだ
ゆう女ありてあたらひけるせたど
やのくん手い上あうさぎの
あたるひつぶよくぶん
ありてうるきけこひが
ふぶよこうやとら
うれめのこのさと
いふよるーこまぶさのよ
あくたまりここうう
うとあ竜ーんのうそ
大ぐこうつむここいまの
いうふとせんくこのくとうたえん
あそたの男ごくうでさーまでとうたえ
きこーのれんをのうひてうけのぐーうひ
のこうのうゆそちぶ大ゆのまちここのく
とうううけきこづのあきるひをうーこい
さを女ぐうこーこけるゆぞまうそまの
竜ーんくゆいこれをまうぶくえんこのうく
あそこをあーいうくとせんこもれども
円
さい
○いまぐそのあうこれ
さーくまれざうけり
「いうぞのまうせく
さうるいうくこだるでよくぐ
いうくでもやうう
さけと女いこう
ぶつの男そのうち
女ようさけの
あうぐうよいとい
やうぞ。
「ぶんる
一ッのさ
ぐたま
せう
もまりぐでそうり

二
さてもせきぐそうこまそいひすめあまうへえんこのの
くうぐるをひとすーまあんドこびくひとうきまもを
けるゆまくこのわどんだんこうこえんセ
とうふのめとこうにこーー
たれそでくぐまこうこの
とくこふるまひ
けるぐどん七もいろ
どのこゆてそうこう
ふれこうむすめ
あまうゆもるの
くこうを
うけてくどん
けるこあこうど
えつけてどん
きーーあまーく
どんセをのまり
あまうをおくこて
るふどゆもあこうあく
すこーのこともうちまう
ゆくのひのまりうちてきこいるこ
けるゆそあまこのあるゆもゆこれぎちや
るきこうーいうそのこまこんこうくどせーこもく
こびうあれどもむまもゆひうきくこれーて
たんキのこのこまひうーいるあまこんキこせう大まや
はちまあるこのうこきをそのくふきこてるふこそうれまあい
ひこすトふあひつめあるこんこあのびてまこれいで大こや
をこうのくてこさゆこうひあるこける
「あーて
こうされて
下さり
ませ

三韓平治往来　栄達足利往来
菅神御代往来　力福百工往来
頼光山入往来　至徳諸藝往来
英将義家往来　兄女長成往来
弓勢為朝往来　家具名畫往来
頼朝武功往来　萬祥廻船往来
木曽勇畧往来　故實四季文章
義經武勇往来　人倫品定文章
新撰曽我往来　平久家宅往来
勇烈新田往来　富商呉服往来
楠　三代往来

熱海温泉圖彙　全一冊　山東庵京山著　溪齋英泉画

板元　錦耕堂謹白

中
天保八年丁酉孟春新板

法神赤の壺山

中之巻

一九作

國貞画

酉春新彫

錦耕堂壽櫻

つぎ
丹

神傳秘方 彭祖香

一貝 四十八銅
代 二十四銅

此妙薬予が家伝来の由緒あり とかくども忌支あるとは故略す お略は追る別紙あらべし

抑此薬の効い年久しく名もあき腫物あるひい痛と又い痒く金ていきる疫る毒ぬうき腫物の膿血を吸出し新肉を治して再おこすべ粒きい立所とあるる又不浄穢を除るゆへ神お傳和とる水の代なるふ塗て辨くしよ又けがれ不浄祓病やく病の毒ゆゑ鼻はなたゆるべ一切の悪薬邪気をさらふ実ふ神傳秘方奇れの霊薬なり

○此中薬何ケ年たちても効能ろくば衰まれ分ばらを水と洗べ忽変る

効能

第一○歩月○歩痔○切痔○やけど○老ても○耳の痛○たびー○眼病一切○小児胎毒くさ瘡ナすの類○男女安の中○数の腫物ゆきび汗疱

の事○産後まで肩又男女淋病の病脇ね かそしとて 芦ふ薬そまし

○眼貞虫まり込てよし○耳ごれハ小より綿て入る○鼻中肉の痔抱ハ外より取る

○引風の後さらやき剃て跡ハねじ風引ふさぐ○冬頭の冷るにぬりてよし○ぢ

○あかぎれ○ひびぎれ○霜腫○乳の痔つまき○きうそ○灸ぐれ○ままたぐま

○おのごぶひ○疝ぶと○下疳○よこね○五痔○脱肛○がん瘡○湿瘡○肩

のこり○手足ひきつり○旅立又ハ道中にて足のうらなど豆出来履くつ

ちくび股ずれ又ハ毒虫ニさされ腫痛ニハ即座ニ治すこと神のごとし○惣て

もろもろの疵腫物出来所よ痛を止め是にすぐる事なし

事なし○房事の時陰茎ニぬれバ湿気をさまし気を受る事ハ

誠ニ奇妙不思議重宝なる妙薬也 世に用ひ給ひためしなし

調合賣弘所　地本錦繪問屋

江戸馬喰町二丁目

錦耕堂

山口屋藤兵衛

松山

下

江戸馬喰町二丁目
山口屋藤兵衛版

春恵仕事山

一九作

国貞画

下書

丁西の春發行

山口屋板

丹

丹

香蝶樓國貞画 ○ 十返舍一九遺稿

天保八酉春錦耕堂發版目録

兼好傳記 つれづれ草 山東庵京山作
不見世友 全六冊 歌川國芳画
爲朝一代記 全四冊 藤壽亭松竹作 五雲亭貞秀画
小糸佐七 本調子三筋糸巻 全六冊 山東庵京山作 五雲亭貞秀画
泰平武藏鑑 全四冊 歌川芳政画 勝川春章画
坂東太郎後世語 全八冊 樂亭西馬作 北尾重政画
妹使山女庭訓繪抄 全六冊 宝田千町綴 五雲亭貞秀画
結神未来山 全六冊 十返舍一九作 歌川國貞画
天神御一代記 全六冊 宝田十町編 五雲亭貞秀画
梅薫雪室咲 全六冊 式亭小三馬作 五雲亭貞秀画
殺生石後日怪談 曲亭馬琴作 後編仁九編 滿屋ゆき画
地本錦繪問屋 江戸馬喰町一丁目 山口屋藤兵衛板